

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22068	事業名	亀山7座トレイル整備・活用推進事業		評価分類	A1		
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署		
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上		予算科目	会計	01:一般会計			
	基本施策	04:まちづくり観光の活性化			款	07:商工費			
	施策の方向	01:地域資源を生かした観光政策の推進			項	01:商工費			
重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト		目		03:観光費				
事業期間	R 1 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等	-					

部	産業環境部
課	商工観光課 観光・地域ブランドG

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	コロナ禍において、登山やキャンプをはじめとするアウトドア等の自然観光の需要が高まる中、社会の変化に適応した観光政策として、「亀山版グリーンツーリズム」を推進し、亀山7座を中心とした自然観光による知名度向上を図っていく必要がある。	市民及びトレッキング・サイクリング愛好者	亀山7座を中心とした自然観光を推進し、本市の知名度向上を図るとともに、自然観光を通じた交流の活発化を図る。また、体験型アクティビティにより、亀山版グリーンツーリズムの展開を図る。	登山道の維持・修繕等を行うとともに、亀山7座を中心にトレッキングイベント等を開催する。また、自主運営クラブチーム等の結成支援を行い、人材育成を図る。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○トレッキングイベントの開催 ○登山道の調査、修繕、情報発信 ○自主運営クラブチーム等の結成支援 ○民間事業者等の連携体制検討	○トレッキングイベントの開催 ○登山道の調査、修繕、情報発信 ○自主運営クラブチーム等の結成支援 ○民間事業者等の連携体制検討	○トレッキングイベントの開催 ○登山道の調査、修繕、情報発信 ○自主運営クラブチーム等の結成支援 ○民間事業者等の連携体制確立	○トレッキングイベントの開催 ○登山道の調査、修繕、情報発信 ○自主運営クラブチーム等の結成支援
	活動実績 (計画通り実施できたか)	亀山7座トレイルを10回開催し、98名の参加があった。登山道の調査は、登山指導員により36回実施し、トレイルの開催前に登山ルートの安全を確認するとともに、必要に応じて枯れ木を伐採するなどの処理を行った。			
計画額	事業費	3,600千円	3,500千円	3,600千円	3,600千円
		国・県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	3,600千円	3,500千円	3,600千円	3,600千円
決算額	事業費		3,117千円		
		国・県支出金			
		地方債			
		その他		3,117千円	
①期間内事業費(R4-7)		14,400千円	②期間外事業費(R8-)	-	①+②総事業費

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	3,500千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	トレッキングイベントの開催	活動	回	計画値	20	20	20	20
				実績値	10			
亀山7座入山者数	登山ポストにおける登山届出者数の累計	成果	人	計画値	200	250	300	350
				実績値	835			
				計画値				
				実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
B	亀山7座を活用したトレッキングイベントについては、前年度と比べ回数の減により参加者数が減ったものの、募集人数110人に対し134人の応募があるなど、人気の高いイベントになっており、自然観光の推進が図れた。また、安全対策のため、登山道の調査・修繕も定期的に行い、講習会等により安全登山の啓発に努めたことで、市内外からの入山者数も計画値の4倍以上となるなど、自然観光を通じて本市の知名度の向上も図られた。
まずまず成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市民及びトレッキング・サイクリング愛好者	亀山7座を中心とした自然観光を推進し、本市の知名度向上を図るとともに、自然観光を通じた交流の活発化を図る。また、体験型アクティビティにより、亀山版グリーンツーリズムの展開を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	亀山7座トレイル単体での情報発信だけでなく、体験型アクティビティを取り入れた亀山版グリーンツーリズムの展開を図る必要がある。また、トレッキングイベントの規模を拡大するため、登山道の整備を継続して進めるとともに、「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワークの体制を整える必要がある。さらに、自主運営クラブチームの結成を促すため、候補者を安全登山指導研修会へ参加させるなどの支援が必要である。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	継続(拡大)	施策の更なる推進に向け、事業の拡大・充実を図る。
	改善・見直し内容	
	令和5年度で対応する(した)もの (公財)亀山市地域社会振興会と連携し、イベントの規模拡大と、自主運営クラブチームの結成促進を図る。また、安全に登山を楽しんでもらうため、登山道の調査・修繕を継続するとともに、更なる亀山7座のPRを行い、本市の知名度の向上につなげる。	令和6年度以降で対応するもの 石水溪キャンプ場や民間のキャンプ場などでの体験型アクティビティと亀山7座のイベントを組み合わせるなど、グリーンツーリズムの展開を図る。

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定	B			
事業展開	継続(拡大)				

1次評価者	産業環境部 商工観光課 観光・地域ブランドGL 早川 博人
最終評価者	産業環境部 観光商工課長 井上 和哉